

2024年6月4日

報道関係者各位

ニュースダイジェスト社
愛知県機械工具商業協同組合

**前回展上回る244社・団体、1320小間で、今年度最大級の産業用ロボット専門展を開催
「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」を7月4日から愛知県常滑市で**

ニュースダイジェスト社（主催、名古屋市千種区、代表取締役社長・樋口八郎）と愛知県機械工具商業協同組合（共催、理事長・水谷隆彦）は7月4日（木）～7月6日（土）の3日間、産業用ロボットと自動化システムの専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN (ロボットテクノロジー・ジャパン、RTJ) 2024」を愛知県常滑市のAichi Sky Expo（アイチ・スカイ・エキスポ、愛知県国際展示場）で開催します。

RTJ2024は、製造業や物流などの産業が集積する中部地方で開催される、産業用ロボットや自動化システムの専門展です。出展者数は244社・団体で、1320小間（5月20日時点）の規模で開催します。産業用ロボットや自動化システムの展示会としては、西暦の奇数年に東京で開かれる国際ロボット展（iREX）に次ぐ国内2番目の規模で、202社・団体、1096小間で開催された前回展（RTJ2022）に比べ出展企業・団体は20.8%、小間数は20.4%規模が拡大しました。現在、事前来場登録を受け付けております。事前来場登録をすると、入場料金（通常1000円）が無料になります。詳細は、公式ウェブサイト（<https://robot-technology.jp>）でご確認いただけます。

本展には、主要な大手ロボットメーカーだけでなく、ロボットハンドやセンサーなどの周辺機器、無人搬送車（AGV）、計測システムなど、自動化に関わる幅広い分野の企業が出展します。

工作機械などの大手産業機械メーカーも多数出展しており、産業機械や機器と産業用ロボットが連携した実用的な自動化システムの展示にも注目です。中部地方で特に盛んな金属加工分野向けの自動化システムを具体的に見られます。それだけでなく、近年急速に自動化が広がりつつある、物流や食品、包装などの業種に向けたロボットを展示する企業も多数出展します。

また、ロボットの現場への設置やシステム構築を担うシステムインテグレーター（SIer、エスアイアー）が集まる「SIerゾーン」を用意しました。同ゾーンでは、実践的で現場の用途に近い「ロボットの使い方」の展示が見込まれ、より具体的な導入イメージを描ける場になるでしょう。

会期中には、地元の常滑市の小学生や、愛知県が主導する「高校生ロボットシステムインテグレーション競技会（SIリーグ）」に参加する県内外の高校生が団体で見学に訪れる予定もあり、学生のロボットへの関心を高めることにも貢献します。

会期を通じて会場内で実施するセミナーでは、大手ロボットメーカーやSIer、大手ユーザーなど幅広い業種や立場から講師を招き、ロボットメーカーが描く現場の将来像や、厳しい条件で自動化に取り組むユーザーの事例など、連日講演します。

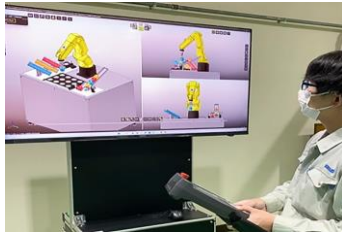
また主催者企画展示として、前回展に続き「産業用ロボット体験ゾーン」を設けます。人と同じ空間で稼働する協働ロボットとのゲーム形式の対戦や、ロボットに動作を指示する教示作業の体験などを通じて、産業用ロボットの魅力と理解を深めてもらう展示内容です。安全性や扱いやすさなどを感じてもらうことで導入検討中の来場者や新しい導入の形を模索する方へのヒントを提示します。

【主催者企画展示】

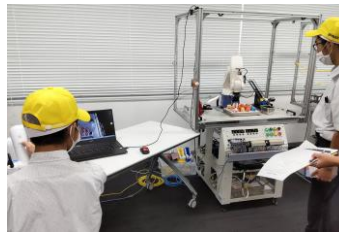
●名称：産業用ロボット体験ゾーン

●内容

①デジタルトレーナー



②ロボット実習体験装置



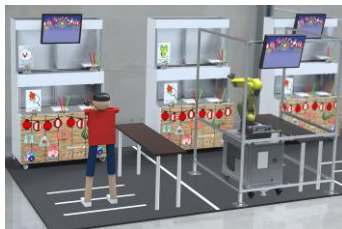
③MR（複合現実）体験



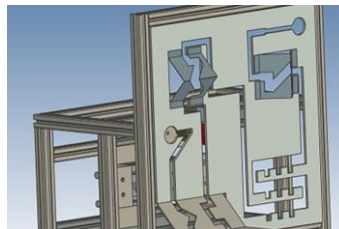
④フリスビー的当て競争



⑤ロボット射的対決



⑥3D スイスイボード



⑦双腕ロボットクレーンゲーム



⑧習字ロボット



●開催場所：会場内 E ホール内

●開催時間：開催終了時刻の 30 分前まで入場可能（7/6 のみ 15:30 最終受け付け）

●協力：中部地域 Sier 連携会、日本ロボットシステムインテグレータ協会、次世代ロボットエンジニア支援機構

●参加料金：無料

※予約不要ですが、主催者都合により受け付けを見合わせる場合がございます

※7/5（金）10:00～12:00 は地元小学生による見学会を予定しているため体験ゾーンにはご入場いただけません

【セミナー概要】

●7月4日（木）

基調講演「ロボットが現場を変える」

講演 1

時間：13:00～14:00

登壇者：安川電機 上席執行役員 中国統括 ロボット事業部長 岡久 学 氏

「安川電機が考える未来工場 ～進化する姿～」

講演 2

時間：14:30～15:30

登壇者：Mujin CEO 兼共同創業者 滝野一征 氏

「ソフトウェア次第で自動化設備能力が数倍変わる時代到来

知能統合プラットフォームが実現した次世代 DX 工場／倉庫」

●7月5日（金）

①ロボットとAIによるモノづくりの未来（WRS2025 開催記念シンポジウム）

時間：10:00～12:30

主催：愛知県

②「Sler's Day in 中部（愛知）」

時間：13:30～16:30

主催：日本ロボットシステムインテグレータ協会

※申し込みは同協会の特設サイト<<https://www.jarsia.com/SI/188.php>>から

●7月6日（土）

特別セミナー「ロボットでこんなことも！最新活用法」

講演 1

時間：10:30～11:15

登壇者：ボーイングジャパン 先端技術・ロボティクスエンジニア ハテム・アブデルハミード 氏

「狭小スペースにおける作業自動化への挑戦」

講演 2

時間：11:30～12:15

登壇者：次世代ロボットエンジニア支援機構 代表理事 川節拓実 氏

「地域のエンジニアが地域の子どもたちを育成する次世代エンジニア育成プログラム」

●開催場所：会場内 C ホール「主催者ステージ」

●聴講料金：無料

●申し込み方法：公式ウェブサイト (<https://robot-technology.jp>) セミナーページから受け付け

●定員：各セミナーとも 300 人（先着順）

【会場速報】

RTJ2024 公式メディア「ロボットダイジェスト」上に、特設ページ「会場速報」を設けます。RTJ2024 の見どころなどをいち早く発信します。各社の新製品の紹介や最新技術などの展示だけではなく、来場者の関心を集める実演の様子や出展者の意気込みなど展示会の雰囲気、会場内の混雑状況などの情報を随時掲載します。開幕直前の7月1日（月）に公開を開始する予定です。



【開催概要】

- 名称 : ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
(ロボットテクノロジージャパン 2024、略称 RTJ2024)
- 会場 : Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
- 開催期間 : 2024年7月4日(木) ~ 7月6日(土) の3日間
- 開催時間 : 10:00~17:00 (最終日は16:00まで)
- 主催 : ニュースダイジェスト社
- 共催 : 愛知県機械工具商業協同組合
- 対象出展製品 : 垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、ガントリーローダー、AGV/AMR、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキングシステム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・IoT 関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など
※サービスロボットや介護ロボットなどは対象外です

【Aichi Sky Expo (アイチ・スカイ・エキスポ、愛知県国際展示場) について】

2019年に愛知県常滑市に開業した同県で最大規模の国際展示場。総展示面積は60,000㎡。中部国際空港の隣接地に立地し、総合保税地域の機能を活用した国内で唯一の常設保税展示場。

【ニュースダイジェスト社について】

創業：1964（昭和39）年3月 設立：1968（昭和43）年5月

代表者：代表取締役社長 樋口 八郎（ひぐち・はちろう）

資本金：2,000万円

従業員：25人

本社：〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3

ホームページ：<https://www.news-pub.co.jp>

概要：1964年の創業以来、工作機械の専門誌《月刊生産財マーケティング》を中心に、FA業界向けの図書を多数出版。2018年には産業用ロボットに特化したウェブマガジン「robot digest」を創刊。また、西暦奇数年の秋には、名古屋市のポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）で国内最大級の工作機械見本市「メカトロテックジャパン（MECT）」を主催する。

【愛知県機械工具商業協同組合について】

設立：1949（昭和 24）年

代表者：理事長 水谷 隆彦（みずたに・たかひこ＝ミズタニ機販 代表取締役社長）

組合員：219 社 賛助会員：107 社（2024 年 5 月現在）

所在地：〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町 16-8

ホームページ：<http://www.aikiko.or.jp>

概要：愛知県内に所在する機械工具（工作機械、産業用ロボット、自動化システム、周辺機器、工具、測定機器など）商社の協同組合。情報共有だけでなく、勉強会や若手経営者の育成と交流に力を入れる。

以上

本件に関する問い合わせ

ニュースダイジェスト社 ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 事務局 担当：平野、松川

Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457

公式 Web サイト：<https://robot-technology.jp>

e-mail：info@robot-technology.jp